

第 27 回 長野県赤十字救急法大会

大会要項

1. 目的

日本赤十字社では、「苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、いかなる状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守る」という使命に基づき、各種講習を行っています。

長野県支部では、救急法講習会で学んだ知識・技術を再確認するとともに、赤十字救急法及び赤十字思想をより広く普及することを目的として、本大会を開催します。

2. 主催

日本赤十字社長野県支部

3. 協力

日赤上田市地区、赤十字奉仕団長野県支部委員会、長野県赤十字救護隊

4. 開催日時及び会場

(1) 日時 令和 5 年 9 月 17 日 (日) 午前 10 時から午後 3 時まで

(2) 会場 上田市上田城跡公園体育館 (長野県上田市常磐城一丁目 1 番地 30)

上田駅から徒歩 12 分程度
上田菅平インターから車 15 分程度
※同体育館駐車場をご利用いただけます。なお、駐車台数に限りがありますので、できるだけ乗り合わせてお越してください。

5. 種目

(1) 三角巾リレー

リレー形式で三角巾を用いたきずの手当を行う。(※別紙 1 を参照)

(2) 総合演習

3～4 チームが合同チームとなって、救命手当や応急手当、搬送等による救護の総合演習を行う。(※別紙 2 を参照)

6. チーム編成人数

1 チーム 3 人で編成する。

7. 参加上限数

各種目とも先着 40 チームとする。

8. 参加申込

(1) 申込方法

別紙出場申込書に必要事項をご記入のうえ、郵送にて長野県支部あて提出すること。

(2) 申込期限

令和 5 年 7 月 14 日 (金) 郵送必着

9. 評価

「赤十字救急法基礎講習教本」及び「赤十字救急法講習教本」に基づき、赤十字救急法講師から講評を行う。なお、三角巾リレーのみ、当支部独自の評価基準に基づき、点数化の上、表彰する。

10. 留意事項

- (1) 一次救命処置（BLS）は「赤十字救急法基礎講習教本」の内容に基づくものとするが、赤十字救急法講習の受講の有無は問わないこと。
- (2) 大会を中止とした場合は、種目の問題等は公表しないものとする。
- (3) 参加申込多数の場合は、先着順とすること。
- (4) 出場決定通知については、8月中旬までに別途通知すること。

11. 大会の中止

次の事象が発生し、大会の開催が困難であると総合的に判断した場合は、開催を中止とし、大会当日6時までに長野県支部ホームページに公表するので、各自で確認すること。

- (1) 大会当日、長野県内に大雨、防風、洪水等の警報・特別警報が発表され、かつ県内の一部または全域に相当規模の災害が発生した場合、または、発生するおそれがある場合。
- (2) 長野県内に震度5弱以上の地震が発生し、かつ県内の一部または全域に相当規模の災害が発生した場合、または、発生するおそれがある場合。
- (3) その他、大会の実施が困難となる事案・事故等が発生した場合。

12. お問い合わせ先

日本赤十字社長野県支部 事業推進課

住所：〒380-0836 長野市南県町1074／TEL：026-219-2563／FAX：026-223-4181

※上田市上田城跡公園体育館へのお問い合わせはお控えください。

三角巾リレー

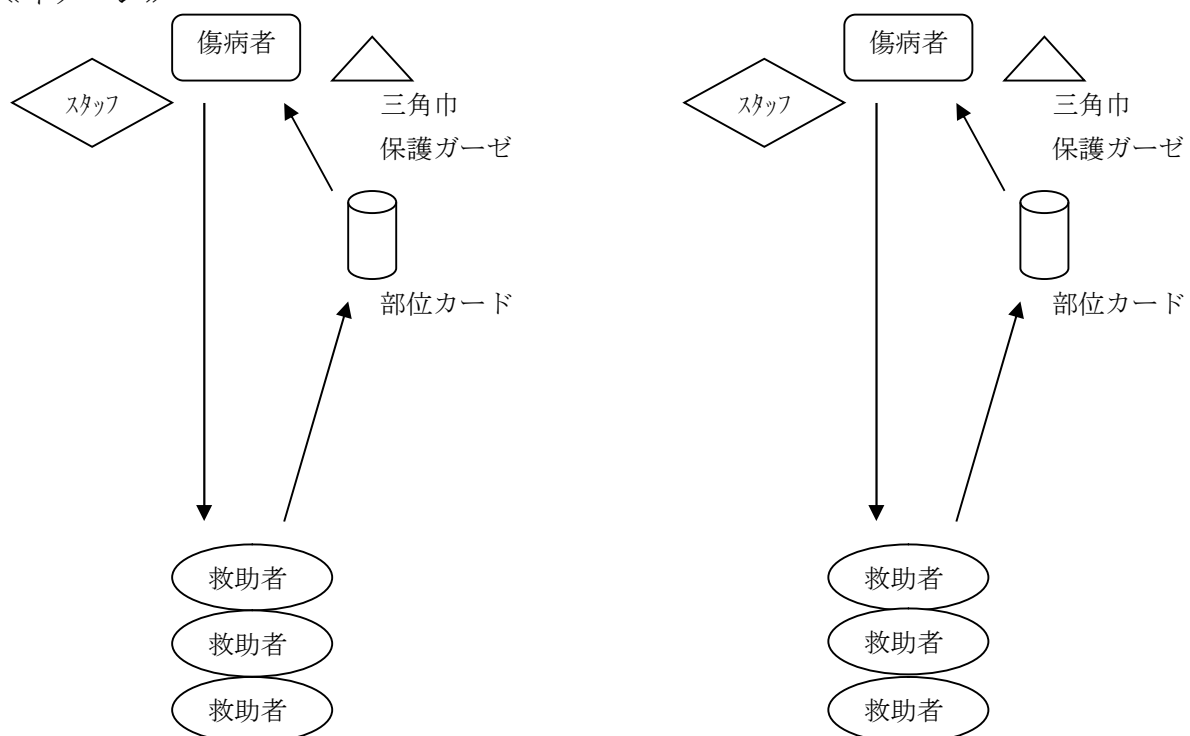
1. 内 容

1 チームを 3 人編成として、リレー形式で三角巾を用いたきずの手当を行う。

2. 実施方法

- ① スタートの合図で、救助者は傷病者のところへ向かう。
- ② 向かう途中で傷病部位カードを引き、手当する傷病部位を決める。
- ③ 大会スタッフに部位カードを渡してから、手当を開始する。
- ④ 手当完了後、スタート位置まで戻り、救助者を交代する。(以後同様)
- ⑤ 最終救助者が戻った時点もしくは競技時間経過時点において、終了とする。

《イメージ》



3. 傷病部位

以下から出題する。

- 赤十字講習教本第 5 章 (きずの手当)
 - 額、頭の周囲、頭、前腕 a、膝、肘、腕の吊り方 a
- 赤十字講習教本第 6 章 (骨折の手当)
 - 鎖骨の骨折、足首捻挫の固定法

4. 資 材

手当に必要な資材は、指定の場所に予め準備する。
(三角巾、保護ガーゼなど)

5. 備 考

詳細は、大会当日に公表する。

総合演習

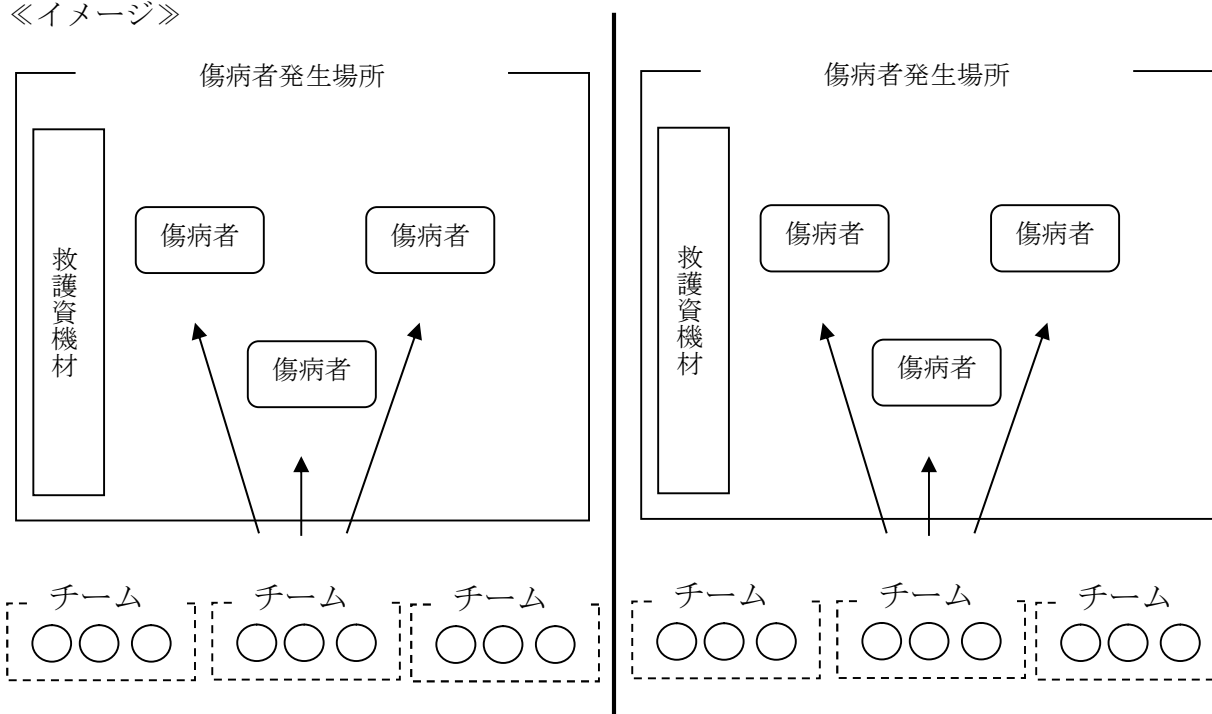
1. 内 容

1 チームを 3 人編成とし、3~4 チームが合同チームとなって、救命手当や応急手当、搬送等による救護の総合演習を行う。

2. 実施方法

- ① スタート前に、大会スタッフから合同チーム内の救助者全員に、場面設定を伝達する。
- ② 合同チーム内でリーダーを決め、スタートの合図で、傷病者の救助を開始する。
- ③ 各傷病者(人形または生体)の状態に応じて、適宜、観察・判断・手当を行う。
- ④ 各救助者の役割は、合同チーム内で相談し決める。
- ⑤ 演習時間は、20 分程度とする。

《イメージ》



3. 傷病者の設定及び手当等

赤十字救急法基礎講習教本及び赤十字救急法講習教本から出題する。

4. 資 材

手当等に必要な資材は、演習場所に予め準備する。

(AED、呼気吹込み用具、三角巾、手袋、タオル、毛布、メモ用紙、筆記用具など)

5. 備 考

詳細は、大会当日に公表する。